

年 度	2020年度（令和2年度）		
科 目	医療秘書（法規）		
担 当	畑山佳之	使用教室	52
実務経験	滋賀医科大学口腔外科にて、歯科医師として歯科医療の臨床、および看護学部の学生の講義を担当		
種 別	☑前期 ・ 後期 ・ 通年		
到達目標	医療秘書としての基礎知識を習得し、実践できる技術を身につける。併せて医療人としての品性・品格を身に着ける		
資格実施月	11月8日		
評価方法	定期考査（中間・期末）の成績（70％）と平常点（レポート提出、出席状況等）30％		
教科書等	新医療秘書実務シリーズ 改定医療秘書等		
内 容	<p>患者、受信者への対応や、医療従事者をサポートする専門職種が医療秘書であり、その仕事の意義や内容を学び、更には検定試験に向けてその試験対策もおこなっていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>第1週から第2週 <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の医療と、日本における医療発展の歴史</li> <li>日本の病院の成り立ちとヨーロッパの病院</li> </ul> </li> <li>第3週から第4週 <ul style="list-style-type: none"> <li>医療事務の発展と病院の組織</li> <li>病院の活動システムと病院数の推移</li> </ul> </li> <li>第5週から第6週 <ul style="list-style-type: none"> <li>医療施設及び病床の種類と数</li> <li>医療圏とは</li> </ul> </li> <li>第7週から第8週 <ul style="list-style-type: none"> <li>診療報酬の支払い方式と医療機能評価</li> <li>救急医療体制と災害時医療</li> </ul> </li> <li>第9週から第10週 <ul style="list-style-type: none"> <li>変革が進む病院医療</li> <li>医療・介護の一体的な改革</li> <li>DPC制度の現状と将来</li> <li>[医療等ID]制度</li> </ul> </li> <li>第11週から第12週 <ul style="list-style-type: none"> <li>欧米の医療秘書の現状</li> <li>欧米の医療秘書の現状</li> <li>欧米の医療秘書の業務</li> </ul> </li> <li>第13週から第14週 <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の医療秘書の現状</li> <li>日本の医療秘書の資格</li> </ul> </li> </ol>		

日本の医療秘書の業務

8. 第15週から第16週

医療秘書への理解

医療秘書の資質

医療秘書の倫理観

9. 第17週から第19週

医療秘書の役割と定義

医療秘書の職種

教授秘書と院長秘書

医局秘書と病棟クラーク

石鏡秘書と医師事務作業補助者

